

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					2025年 11月 1日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・日々の利用者数が変動的なので、利用者数に合わせた活動内容を工夫し安全面に留意しています。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・児童：スタッフを2：1で対応できるようにしています。今後も利用者数に合わせたスタッフを配置し、十分な支援が行えるように取り組んでいきます。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・集団活動と個別活動で空間分けをし、分かりやすい環境整備を行っています。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日の清掃を欠かさず行い、特に衛生面の配慮を行っています。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・区切られた空間でクールダウンなどできるようにしています。				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・定期的なミーティングの開催、日々の情報共有を行い、職員間で意識を統一し利用者支援に繋げています。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・評価表でご意見、ご指摘いただいた点については改善に取り組んでいます。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・定期的なミーティングの開催、日々の情報共有を行い、その中での意見やアイデアを参考に、業務改善に繋げています。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・外部監査を受け、ご指摘いただいた点については改善に取り組んでいます。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・内部研修会を開催し、質の向上に努めています。また、外部の研修等も積極的に受講しています。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・利用者、保護者さまからのニーズをもとに、職員全体で会議を行い支援プログラムの検討、作成を行っています。	・保護者様への公表の仕方など課題はあります。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・定期面談、日々保護者さまからお子様の発達相談やニーズを聞き取りした上で、個々の課題を明確にしています。				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・利用者、保護者さまからのニーズをもとに、職員全体で会議を行い支援内容や役割分担の検討を行っています。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援計画の内容・役割分担は職員間で共有し、支援に取り組んでいます。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・利用者、保護者様には検査機関で行われた発達検査の結果書類等の提出をお願いしています。また、保育園や幼稚園での活動記録なども確認させていただき、支援に繋がっています。				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ガイドラインのねらい及び支援内容を踏まえ、個々に必要な項目設定と具体的な支援内容を設定しています。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・定期的なミーティングで話し合い、プログラムの立案を行っています。				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・日替わりで活動プログラムを作成し、担当・役割を設定して活動を進めています。また、季節ごとにイベントを行うなど、固定化しない工夫をしています。				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・集団活動を設定した月々のプログラム、また個別活動においても利用者様のニーズと状況に応じて参加方法や頻度、内容を設定し、必要な支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・活動開始前にはミーティングを行い、支援内容、役割分担についての確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・活動終了後には業務報告を行い、情報の共有化に取り組んでいます。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々の個別記録内容、業務報告内容の検証を行い、支援内容の改善、向上に取り組んでいます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・年2回(変更が必要な場合はそれ以上)の支援内容の評価、支援計画の作成により、内容の見直しに取り組んでいます。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・今後も参加依頼があれば、できる限り予定を調整し参加していきます。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じて関係機関、担当者と情報交換し連携して支援を行う体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じて各担当者と情報共有と相互理解を図り、連携して支援を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者を通して、または直接各担当者と連絡を取るなどし、支援内容の情報共有と相互理解を図り、連携して支援を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・4月から地域支援体制強化事業が実施されているため、研修会や情報交換会に積極的に参加し、情報共有や助言を受けているところです。	・今後も積極的に連携を図っていききたいと思っています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	△		・地域イベントへの参加や日々の戸外活動の中で触れ合う機会があります。	・現状、積極的な交流事業などは行えていないため、今後の課題です。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・日々の状況や課題についてはシステムの活動記録や送迎時に対面での報告を行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	△		・保護者様からの相談があれば行っています。	・積極的には行えていないため今後の課題です。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・見学時や契約時には、支援内容、利用者負担、その他手続きについて説明を行っています。聞き逃しや不安な点はその都度、何度でもお問合せいただき、丁寧な対応を心掛けています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・支援計画作成前には個別面談をおこない、利用者やご家族の意向の確認を行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・計画書を提示し、補足内容を加えながら説明を行って、同意を頂いています。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期面談をおこなうほか、送迎時やお電話、システムを通じてご相談やお話を受け、その都度対応させていただくと共に、必要に応じて個別に時間を設けさせていただいています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者様同士の交流イベントやご家族様参加型のイベントを開催し、交流の場とさせて頂いております。特に「夏まつり」や「クリスマス会」は大変喜んでいただけていると思います。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・利用者様、保護者様からのご意見・ご相談に対しては適切な対応が行える体制を整えています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・書面及びメール、Instagram等を通じて保護者様への発信を行っています。	・今年度から、教室通信の発行を始めました。SNSは、現状不定期な発信となっているため、定期的に発信できる体制を整えることが課題です。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報が含まれる記録等については、細心の注意を払い管理を行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・ご理解いただけるよう、個別での情報伝達など配慮を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・現状、積極的な交流事業などは行えていないため、今後の課題です。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルは策定し職員については周知できています。また、避難訓練の取り組み、役割分担の確認等もを行っています。 ・保護者様にも災害時の避難場所や感染対策の説明を行っています。	・今回のアンケート結果で保護者様の周知度が低かったため、今後の検討課題です。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BPCIは策定し職員については周知できています。また、必要な訓練の取り組み、役割分担の確認等もを行っています。	・日によって出勤しているスタッフ、人数が違っているため、臨機応変に対応できることが課題。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・服薬やてんかん発作については保護者様からの聞き取りと書面での提出をお願いし、事業所内で共有し対応に取り組んでいます。	・予防接種については今後状況確認をしていきたいと思っています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・アレルギーについては保護者様からの聞き取りと書面での提出をお願いしています。また、医師からの指示書等も提出していただき、事業所内で共有し徹底した対応に取り組んでいます。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画に基づき、安全管理に努めています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・利用児童の発達段階に合わせた安全指導を行えるよう配慮しています。	・安全計画及び安全に関する取り組みの内容については個別懇談時にお伝えしていますが、HP掲載の準備もすすめています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・活動終了時の報告、またミーティング時に職員間共有を行っています。必要に応じて、職員間での伝達ツールを活用し、再発防止対策を共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・年2回全員参加の研修機会を設けています。マニュアルを作成し職員については周知できています。スタッフルームには虐待防止のための独自ポスターを掲示し、視覚的にも注意を促す工夫をしています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	△		・現在身体拘束は行っていません。突発的な危険行動等が見られ、ケアが難しいと判断した場合の対応(拘束ではなくクールダウンできる環境の提供を行う)はスタッフ間での取り決めとし周知しています。	・現在身体拘束は行っていないため、支援計画への記載もありません。利用者、保護者への事前説明という点で不十分と思われる部分は今後の課題として検討していきます。